

次回展覧会のお知らせ

5/1 (水) ~ 6/24 (月)

特別展 生誕130年 没後60年を越えて
「須田国太郎の芸術—三つのまなざし—」
(三之瀬御本陣芸術文化館と2会場で開催します)

※特別展 展示替えに伴い、

4/23 (火) ~ 30 (火) を臨時休館します。

■ 近隣の文化施設のご案内

三之瀬御本陣芸術文化館

2/21 (水) ~ 4/22 (月) 所蔵品展V

『生誕100周年 岡崎勇次』

蘭島閣美術館別館

3/27 (水) ~ 6/17 (月) 所蔵品展I

『没後60年・没後20年 寺内萬治郎と森清治郎』

松濤園

1/31 (水) ~ 4/8 (月) 所蔵品展V

◇朝鮮通信使資料館『唐子と朝鮮通信使』

◇陶磁器館『時代と伊万里焼』

PICK UP!

白雪楼

江戸時代後期を代表する頼家ゆかりの茶室。
美術館の裏手にあります。

お庭を楽しみながら、
ほっと一息。
癒しの空間でお抹茶をどうぞ。



【入館料】 一般 400円 / 高校生 240円 / 小中学生 160円

■ 交通のご案内

広島市内から車で約1時間

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡った最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場から美術館まで260m。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に
安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈。詳しくは
くれ観光情報プラザ TEL 0823-23-7845 まで。

呉市内から電車・バス利用の場合

JR 呉線で広駅または仁方駅で下車し、駅前最寄りのバス停留所から瀬戸内産交(株)のバス「営農センター・沖友天満宮方面」行きに乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所で下車。停留所から美術館まで300m。



RANTOUKAKU ART MUSEUM 蘭島閣美術館

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町三之瀬 200-1
TEL 0823-65-3066 FAX 0823-70-8022
<http://www.shimokamagari.jp/>



松尾敏男「春輝」平成4(1992)年

四季を彩る花々と風景

日本人は、昔から四季折々に変化する花々や風景など、移り変わっていく四季を愛でてきました。移り変わる自然は、四季ごとに開かれる祭りや風習などの文化や日常生活、そして芸術と深いつながりを持つものです。こうした日本人の美意識は、絵画や工芸の重要なテーマとなり、多彩で豊かな表現の作品を生み出しました。また花は特に人気のあるテーマの一つとして、現代まで画家たちはたくさん花の絵を描いてきました。なかでも、日本を象徴する花として代表的な桜は、開花から落花までの短い一生に、様々な想いが重ねられ、今日まで人々を魅了しています。

本展では、現代日本画壇で桜の名手として知られる中島千波や、吉野の桜を描いた吉田善彦、桜を愛でる女性像を描いた島成園の美人図など、花と人を表現した作品も紹介します。また桜とともに日本人に親しまれてきた牡丹を描いた、日本画家の松林桂月や松尾敏男、加山又造などの作品や、堅山南風の花の素描、洋画では、春を待つ古民家を描いた向井潤吉や、古梅を描いた武永慎雄などもあわせて展示します。

画家の眼を通して、描かれた花々と四季がつくりだす様々な情景をお楽しみください。

(右) 川合玉堂「冬の柳」
(左) 向井潤吉「洛北待春」

昭和45年(1970)頃



©Mieko Mukai 2024/JAA2400005